

〈研究室近況〉

昭和58年度非常勤講師として、以下の諸先生方をお願いした。

松尾均（経済学原論・社会政策）・時子山ひろみ（国民所得論）・鍋島力也（日本経済論）・中野卓（社会構造論）・石川稔（法学）・工藤恭吉（日本近・現代経済史）・城塚登（社会思想史）・中林賢二郎（社会運動史）・広田寿子（社会問題Ⅱ女子労働論）・久保まち子（社会保障）・平石長久（国際社会保障）・井上勝也（老人福祉）・深沢里子（医療社会事業）・本間道子（社会心理学）・藤森岳夫（社会医学）・平井富雄（精神衛生）・高月東一（社会調査）・五味重春（リハビリテーション論）・村岡末広（社会福祉施設管理）・吉沢英子（養護理論・ソーシャルグループワーク）・高橋喜久江（婦人問題）・野村歆（福祉建築）・佐口卓（医療保障論）・岡田敬蔵（精神医療）〈順不同〉

4月6日入学式、新入生 103名。4月16日～17日、八王子セミナー開催。新入生及び米地実学科主任以下研究室スタッフ全員が出席。

9月4日～5日、国際婦人教育会館において大学院社会福祉専攻セミナー開催。文学研究科社会福祉学専攻学生及び山崎道子専攻主任以下研究室スタッフ全員が参加。

9月14日～16日、佐藤進教授が、国際労働法・社会保障学会第2回アジア地域会議にて「労働災害」報告のため、韓国（ソウル）に出張。

9月23日～24日、日本社会福祉学会（於：北星学園大学）において、一番ヶ瀬康子教授・大友昌子助手・加登田恵子助手が「日本における貧困ならびに生活問題調査の歴史的研究」について一連の報告。

10月29日～11月5日、佐藤進教授、東南アジア諸国における多国籍企業の労使関係事情の調査のため、シンガポール・マレーシア・タイに出張。

11月26日～27日、小島蓉子教授、「1983年度社会福祉教育セミナー」および日本社会事業学校連盟総会出席のため熱海に出張。

12月19日、10月より急病のため長期欠席していた吉田久一教授が本復し、出講。

昭和59年1月10日、卒業論文提出日、34回生91名が提出。

3月19日、34回生92名が卒業。

3月31日、吉田久一教授が定年退職、加登田恵子助手が退職。

なお、本学名誉教授松本武子先生が、昭和58年春の叙勲で、勲三等瑞宝章に叙された。お喜び申しあげます。